

〈 校訓 〉



切磋琢磨



学校教育目標 : 心豊かでたくましく生きる子
 めざす子ども像 : 自ら学ぶ子・思いやりのある子・明るく元気な子
年度当初は特に : **命を守りきる行動がとれる子**

いよいよ 待ちに待った学校再開！ ～その一歩が分散登校～

「おはようございます！」「登校できて嬉しい！」「友達と会えて嬉しい。」「早く学校に来たかったよ。」…。

分散登校の朝、マスク姿の奥に見える子どもたちの笑顔がとても素敵でした。また、どの教室でも、先生の話を生懸命聞こうとする子どもたちの姿が見られました。集団登校では、見守りとして、大人の方が付き添ってくださる町がたくさんありました。交通安全とともに、身体的距離をとるよう(詰めすぎないよう)その場で声掛けをしていただき、感謝いたします。



先週、5月19日(火)・20日(水)は「くつばこポスト」の2回目としてお知らせしていましたが、「6月1日からの学校再開に向けて登校日を設ける」と、東近江市教育委員会より通知があったため、この日を「分散登校日」に変更しました。そして、今週はさらに登校日を2回に増やし、6月1日の学校再開に向けて段階的に準備をしています。いよいよ待ちに待った学校生活が始まります。



学校再開後も、安全面・学習面・体力面・メンタル面等々心配はたくさんあります。感染症対策をしつつ、確実に教科学習を進めていかなければなりません。様々な人が集う学校だからこそできる学びを大切に、予測不能な時代も心身ともに強く優しくたくましく共に生き抜く子に育てていきたいと強く思います。

学校再開後は、「感染症を予防した学校生活」に変わります。基本的には、4月に配布した桃色の「令和2年度学校再開時の対応」に沿って進めますが、特に、5点(「検温」「手洗い」「マスク着用」「換気」「身体的距離」)に重点をおき、子どもたち自身が自ら気づき、考え、身を守る動き[命を守りきる行動]が取れるよう指導していきます。物理的距離をとりながらも、人と人との関わり(つながり)を大切にできる子に育てたいと思います。

ご家族の皆様、ご理解ご協力をどうかよろしく願いいたします。ともに頑張りましょう。

「3密」をできる限り避ける 教室環境では・・・

教室は子どもたちが一日のほとんどの時間を過ごす大切な学びの場・生活の場です。分散登校時は密集を回避できましたが、6月からは一斉登校です。密集は避けられませんが、可能な限り3密を避けるため、特別教室などの学校資源や人的資源を学校全体で総合的に考え、次のようにします。

(1) 全ての学級で児童機の間隔を広げ、教室いっぱい広がって学習します。

(2) それでも人数の多い学年(第1学年・第6学年)に限っては、当分の間(6月・7月)は、学校体制を組んで対応します。

・第6学年[36名・37名]・・・今のままでは狭いが、学級としての集団(まとまり)を大切にしたいので、広い教室に全員で移動する。

→ 臨時的に、6年1組は大多目的教室、6年2組は第1音楽室を使用する。引っ越しは、5月27日・28日。

・第1学年[35名・36名]・・・今のままでは狭いため、6年生のように広い部屋へ移動することも考えられる。しかし、入門期であるため、教師が子どもの近くで指導する方が教育効果が高いので、できるだけ少人数で指導してやりたい。

→ 在籍学級は1組・2組のままで変えないが、狭いので、学習する学級を臨時的に、もう1学級増やす・・・〔(仮)3組 仮3組について **児童** 2週間ずつ交代して3組で学習をする。

(1組・2組をそれぞれ3分割(ABC)にし、例えば、6月第1週は1A・2Aが3組で学習する。)

指導者 教務。できるだけ同じ教員が指導に当たれるようにする。

(小林加奈子教諭が、その間は3組の指導にあたる。)

★自宅で過ごしているみなさんに、できるだけ学校での様子をお伝えしたいので
今月号も写真をたくさん記載します。

集中して学習に向かう子どもが、いっぱい！



待ち時間に静かに読書をする子ども……これも「3密」を防いだ学習です



日常生活の中で、間隔を開けて並ぶ力を身につけたい



教室の中でも間を開けて並んでいます



集団登下校でも、自分たちで気づいて間を開けています

学校再開に向けて……気持ちの良い学校にして、子どもたちの登校を、待っています



登校日の放課後には、毎日、教職員が、教室の児童机・スイッチ・ドアノブ・窓の鍵の部分・トイレ・水道などを、消毒しています。

